



一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ) 主催

2016 年度 第 6 回 日本ユング心理学研究所 研修会のご案内

日時： 2017 年 3 月 5 日 (日) 12:15~17:00

会場： 連合会館 (東京都千代田区神田)

ご挨拶

私ども AJAJ の研修会も今年で 6 回目を迎えることとなりました。

今年の全体講演は、田中康裕先生が「フィリップ・K. ディックと現代の意識」と題してお話しくださいます。フィリップ・K. ディックは、1928 年生まれのアメリカの SF 作家で、現実の危うさや個人のアイデンティティの構築をテーマにした作品を多く書き、C.G.ユングにも強い影響を受けているといわれています。現代の私たちは、溢れる情報に囲まれつつ、その情報にいつでも、どこからでもアクセスできる世界に置かれています。そんな世界を生きる現代人の意識のあり方を、今回、先生のご講演をとおり、P.K.ディックの作品をもとに、ユング心理学の視点から見つめ直し、一人一人が日々取り組んでおられる心理療法について考える機会として頂けましたら幸いです。

全体講演に引き続く分科会は、分科会 3 つ、基礎コース 4 つの 7 コースの構成となっています。ユング心理学を基礎から学んでみたいとお考えの方も、更に深めたいとお考えの方も、それぞれの学びの場として、是非奮ってご参加ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2017 年 1 月吉日

一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ)
会長 横山 博

研修ポイント： 全体講演と分科会の両方に参加された場合、臨床心理士教育・研修規定別項第 2 条 (4) により、一般参加 2 ポイント、事例発表者 4 ポイントの取得となります。

<開催要領>

1. 定員： 200名（定員に達し次第、受付締切）

2. 参加資格： 以下いずれかの条件を満たす方

- ① 日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生
- ② 心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③ 臨床心理学を専攻する大学院生

3. 参加費（8%消費税込み）

- ①一般：¥6,480- ②登録会員：¥5,400- ③聴講生・候補生：¥4,320-

*②③は、それぞれ日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生で、それ以外は①一般となります。

4. 研修内容：

- (1) 全体講演： 時間 12:15~13:45（受付は11:30より）
会場 連合会館（2階）大会議室

テーマ： 「フィリップ・K・ディックと現代の意識」

講師： 田中 康裕（京都大学）

概要： フィリップ・K・ディックは、20世紀後半のアメリカを代表するSF作家の一人である。彼が夭折したその年には、代表作『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』（1968）が、『ブレードランナー』（1982）として映画化されているが、この講演では、同時期に書かれた『ユービック』（1969）と題する長編小説をテキストとして取り上げる。この“UBIK”というタイトルは、「あらゆるところに」を意味するラテン語のubiqueに由来し、抽出された9つのdeterminationを通して、そこに描かれる「半生状態」やそこで到達される「クラインの壺」状の意識を、ポストモダンの現代における意識のあり方と重ね合わせつつ、ユング心理学の視点から論じたい。

(2) 分科会／基礎コース： 時間 14:00~17:00

各分科会／基礎コースの会場につきましては、当日、全体講演の受付にてご案内させていただきます。

以下の7グループ（分科会3・基礎コース4）に分かれて行います。

*事例提供ご希望の方は、お申込の際、その旨と簡単な事例概要をお書き添えください。

【第1分科会】 田中 康裕（京都大学）

「ユビキタスな自己意識とその心理療法」

近代の意識とは異なり、今日的な意識においては、もはや自己関係の成立を前提とすることはできず、その意味で「サイコロジカル・インフラ（心理学的基部構造）」の存在はもはや想定しえない。そのような“水平的・一次的に世界に満ちあふれる、情報として外在化・遍在化した<私>”（だけ）の意識をここでは「ユビキタスな自己意識」と呼び、神経症的な意識のあり方との相違や、そのような意識とかかわりの深い解離や発達障害等の見立てや心理療法のあり方を提示される事例を通して論じたい。

*解離性障害や発達障害を疑われる事例を募集します。

【第2分科会】 深津 尚史（医療法人同心会 杉田病院）

「優れた映像記憶を併せ持つアスペルガー症候群の夢分析

—Jungの拡充法とTomaselloの共同注意から—」

アスペルガー症候群である 38 歳男性の夢分析過程を報告する。彼は「数字が勝手に頭に浮かぶ」映像記憶の持ち主であり、数学の才能と発達障害を併せ持つ二重に例外的な(2E:twice-exceptional)存在だった。彼の夢の連想は関心のある話題に容易にずれ、ユング派の拡充法 *amplification* が成立しなかった。そのため、Jung の拡充法を Tomasello, M. の共同注意 *joint attention* の観点から捉え直したい。また、もし時間が許せば、奇異な視覚的映像を呈する統合失調症の夢分析と比較したい。

【第3分科会】 町沢 理子（独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院）

「身体に根をおろす —Marion Woodman らによるボディーワークの体験—」

ユングは「まず身体というあなたの大地に戻ることによって初めて個性化は可能になる」と述べている。本分科会では保護された空間と信頼感の中で、自分自身の身体に根をおろして内的創造的インパルスに触れ表現することを体験する。これは身体表現による能動的想像法と言えるが、同時に、健康な自己愛に乏しい心身症や摂食障害患者を扱う治療者に必要な、真の自発性への感受性とこれを扱う能力を高める訓練にもなりうる。

【基礎コース-1】 足立 正道（新潟青陵大学）

「河合隼雄の『コンプレックス』」

本書の前半の 3 つの章すなわち「コンプレックスとは何か」「もう一人の私」「コンプレックスの現象」を対象として、議論してゆきたい。コンプレックスは個人的無意識に関連しており、フロイトの心理学と共有する部分が多いが、それゆえに、余計にフロイトとユングの違いについても議論すると興味深い面がある。コンプレックスそのものの理解と同時にユング心理学の中でのコンプレックスの位置付けまで学んでゆきたい。

文献：河合隼雄『コンプレックス』（岩波新書）

【基礎コース-2】 河合 俊雄（京都大学こころの未来研究センター）

「河合隼雄『ユング心理学と仏教』から学ぶユング派心理療法」

この本は、ユングに基づいて発展していった河合隼雄による心理療法論の完成形と言えよう。本文は 210 頁あまりなので、各章を、井筒俊彦の仏教についての書物に参照しつつ紹介し、特に「私」、「非個人的関係」、セラピストのコミットについて議論し、現代の臨床にも寄与することを指摘したい。

文献：河合隼雄『ユング心理学と仏教』（岩波現代文庫）

【基礎コース-3】 前田 正（常葉大学大学院）

「ユングの統合失調症論と現代脳科学の接点」

C.G.ユングの論文 *Schizophrenia in CW3* を題材にして、ユングの統合失調症論を学ぶ。同時に、統合失調症の臨床と研究に取り組んでいるアメリカの精神科教授 Silverstein の論文を紹介しつつ、ユングの統合失調症論が現代脳科学の時代にあっても有効かという問いに取り組む。統合失調症事例のユング心理学的見方の実際も体験的に学んでゆく。

文献：“Schizophrenia” in CW3

参考文献：C.G.ユング/関忠盛訳『精神分裂病』（「現代のエスプリ」No.150 至文堂に収録）

Steven M. Silverstein: Jung's views on causes and treatments of schizophrenia in light of current trends in cognitive neuroscience and psychotherapy research II: Psychological research and treatment. *Journal of Analytical Psychology*, 59, 2014.

【基礎コース-4】 吉川 眞理（学習院大学）

「『子どもの夢』をテキストとする夢の解釈体験ワーク」

子どもの夢 I (人文書院)所収のユングによる「第 1 章 夢解釈の方法について」に紹介されている夢解釈の「方法」を学び、同書で紹介されている夢を素材として解釈を実際に行うワークを行います。ユング自身による夢解釈方法論を丁寧にとりあげ、体験を通して学ぶ夢分析入門セッションです。

文献：C.G.ユング「I 夢解釈の方法論について」（『子どもの夢 I』人文書院）

5. 参加お申込について

お申込の方は、件名を「AJAJ 第6回研修会申込」とし、以下の内容を明記のうえ、メールまたは FAXにてお申し込みください。

※ **記入事項**： 1) 参加ご希望の分科会／基礎コース（必ず第2希望までご記入ください）

2) 参加されるご本人の氏名・ご連絡先等

A) **一般の方**： ①氏名(フリガナ) ②住所 ③返信用のご連絡先(メールアドレス/FAX)

④所属 ⑤職業/専攻

* 臨床心理士の方は、臨床心理士番号もお書き添えください。

B) **登録会員**： ①氏名 ②登録会員番号 ③返信用のご連絡先(メールアドレス/FAX/住所)

3) 事例提供ご希望の方は、その旨と簡単な事例概要をお書き添えください。

※ **宛 先**： 一般社団法人 日本ユング派分析家協会(AJAJ)事務局

e-mail : infoajaj@circus.ocn.ne.jp

FAX : 075-253-6560

※ **申込締切**： 2017年1月29日(日)

6. 参加可否について

・お申込受付後、お書き頂いたご連絡先に通知を差し上げます。

* 通知は申込締切後の2月初～中旬になる予定です。

・参加証等は発行いたしません。

・申込者本人のみご参加可能です。

7. 参加費のお振込について

参加頂ける方につきましては、2017年2月23日(木)までに、下記口座までお振り込みください。

振込先: 三井住友銀行 京都支店 普通 7908843

一般社団法人 日本ユング派分析家協会

* 振込明細は領収書代わりになりますので、必ず保管し、当日ご持参ください。

* お振込みは、必ず本人のお名前をお願いします。(異なる場合は、事前にご連絡ください)

* 納入された参加費はご返金できませんので、予めご了承ください。

8. お問い合わせ先

一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ) 事務局

住 所： 〒604-8126 京都市中京区高倉通蛸薬師下る貝屋町 558 澤田ビル 2階 201号

FAX： 075-253-6560

e-mail： infoajaj@circus.ocn.ne.jp

9. 会場について

連合会館 (東京都千代田区神田駿河台 3-2-11)

*** 別紙地図をご参照ください**

AJAJ 主催 第6回 日本ユング心理学研究所 研修会 会場案内
2017年3月5日(日)

連合会館

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

交通のご案内



1 ザ・ビー お茶の水	2 お茶の水ホテル聚楽	3 ホテルマイステイズお茶の水
パーキングメータ		

■ アクセス方法

【交通機関】

● 地下鉄

丸ノ内線／新宿線をご利用の方は地下道を通り、千代田線方面へ

東京メトロ 千代田線 新御茶ノ水駅 B3出口 ※ (徒歩0分)

東京メトロ 丸ノ内線 淡路町 B3出口 ※ (B3出口まで徒歩5分)

都営地下鉄 新宿線 小川町 B3出口 ※ (B3出口まで徒歩3分)

※B3a・B3b出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください。

● JR

JR中央線・総武線・御茶ノ水駅・聖橋口 (徒歩5分)